

公益財団法人仁科記念財団
令和4年度（2022年度）事業報告書

仁科記念財団は、故仁科芳雄博士のわが国及び世界の学術文化に対する功績を記念し、定款第4条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において次の公益目的事業を行う。(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成。

1. 令和4年度（2022年度）に行った公益目的事業

(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与

■第68回仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味の原子物理学およびその応用に関して傑出した業績をあげた日本の研究者に授けられる賞で、当財団創設の昭和30年（1955年）以来、毎年数名の研究者に授与されてきた。

これまでの受賞者の総数は199名（本年度の2名を含む）となり、その中からは、その後国内外での著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者6名（江崎玲於奈氏、小林誠氏、益川敏英氏、小柴昌俊氏、中村修二氏、梶田隆章氏）、文化勲章受章者14名、恩賜賞受賞者9名、日本学士院賞受賞者30名となっている。

仁科記念賞規程では、① 6月1日から8月31日の3ヶ月間、当財団ホームページ(HP)、日本物理学会誌、応用物理学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は3件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と1件当たり60万円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の12月6日にこれまでの受賞者を含めた研究交流の懇談会の場で行うとしている。

本年度第68回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他14名）は、今年度推薦のあった25件の候補についてオンライン会議で慎重に審議したのち、次の2件（2名）に授与することに決定した。

1) 業績題目：「スピン流物理学の開拓」

受賞者：齊藤英治

東京大学大学院工学研究科・教授

2) 業績題目：「宇宙背景放射を用いた標準宇宙論への貢献」

受賞者：小松英一郎

Max Plank Institute for Astrophysics, Director

この結果は令和4年10月27日に開催された第40回理事会（オンライン会議）で承認され、11月10日に日本アイソトープ協会第2会議室にて新聞発表を行った。

本年度の授賞式は12月6日に、学士会館にて受賞者2名と同伴者、理事長、常務理事、選考委員長、評議員会会長ほか財団関係者が参加して執り行われた。受賞記事は、当財団HPに加えて、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin にも公開された。

■第10回 Nishina Asia Award（仁科アジア賞）

当財団は、平成24年度（2012年度）に Nishina Asia Award（仁科アジア賞）を創設した。

Nishina Asia Award は、アジアに研究基盤をおいて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後15年以内）1名に授与される。受賞者には、賞状と賞牌および賞金40万円を仁科記念賞授賞式場で贈呈し、さらに授賞式の前後約1週間、わが国の研究者との研究交流を助成する。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会（佐々木節委員長他11名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て9月初旬には受賞者に通知される。

第10回となる2022年 Nishina Asia Award の候補者募集要項を令和4年（2022年）1月1日から3月31日の3ヶ月間、当財団HPに掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、25件の推薦があった。

選考委員会がオンライン会議で慎重に選考した結果、

インド籍の Suvrat Raju 氏（Professor, International Centre for Theoretical Sciences, Tata Institute of Fundamental Research, Bengaluru, India）に ”for his original and influential insights into the resolution of the black hole information paradox and the principle of holography in quantum gravity” の業績に対し授賞することに決定した。

受賞記事は、本財団HPとAAPPSのBulletinに公開された。本年度は新型コロナ禍で招聘できないため、Raju氏に、賞金を送金した。新型コロナ禍が終息し次第、セミナーのために招聘し、賞状と賞牌を手交することになっている。

なお、第40回理事会において、昨今のアジア諸国における基礎物理学振興の高まりに鑑み、Nishina Asia Award の本来の使命は全うされたと判断されることから、第11回以降の Nishina Asia Award は廃止することにした。

(2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催

■第 68 回定例仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に基礎物理学とその応用の真髄を会得していただくため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

本年度は、以下のように第 68 回定例仁科記念講演会「スピン流の理（ことわり）と使い途」が開催された。

日 時：令和 4 年 12 月 5 日（日）15:00～17:30

場 所：東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 212 号講義室
（Webinar にてライブ配信）

主 催：公益財団法人仁科記念財団

共 催：東京大学大学院工学研究科物理工学専攻

後 援：公益社団法人日本アイソトープ協会

（プログラム）

挨 拶：小林 誠 仁科記念財団理事長

司 会：家 泰弘 仁科記念財団常務理事

学校法人中部大学 理事・副総長

講 演：「スピンはめぐる一固体の中で」

永長 直人 理化学研究所創発物性科学研究センター副センター長

東京大学工学系研究科 教授

講 演：「スピン流と角運動量の物理」

齊藤 英治 東京大学工学系研究科 教授

参加者：55 名（会場）、139 名（オンライン）

当財団 HP にてポスターと「講演録画」（YouTube）を公開している。

（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営

仁科芳雄博士の執務室（通称「仁科記念室」）に保存されていた史料の理化学研究所への移管が完了したことを踏まえ、それらの整理を理研史料室と共同で行うとともに、当財団 HP の「仁科芳雄デジタル記念館」での公開を進めた。

（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

本年度も、仁科記念講演会の講演録とその講演録画とともに、当財団がこれまで刊行してきた雑誌等を電子化して HP の「出版および史料研究調査」に順次公開してきた。

刊行物としては、例年通り、2022 年版仁科記念財団案内（2022 年 6 月）を刊行した。これまでの財団案内は、すべて HP で閲覧、ダウンロードできる。

(5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

本年度は、新型コロナ禍のために Nishina Asia Award 受賞者を招聘できなかった。

2. 賛助会員および特別寄附

- ・本年度の賛助会員数は 6 法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社、住友重機械工業株式会社、公益財団法人本田財団）、1 個人。
- ・公益財団法人科学振興仁科財団（岡山県里庄町）から昨年度に続き特別寄附金を頂戴し、「特定資産」に繰り込んだ。

3. 物故

- ・元客員運営諮問委員、宮沢弘成氏が、2023 年 1 月 14 日に逝去された。享年 95 歳。
- ・助言委員、宮本健郎氏が、2022 年 4 月 4 日に逝去された。享年 90 歳。

4. 会議

本年度開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。評議員会は対面とオンラインを併用して開催し、その他の会議はすべてオンラインで開催した。なお、評議員会と理事会の議事録は、HP に公示している。

(1) 評議員会

1) 第 12 回（定時）

日時：令和 4 年 6 月 6 日 14:00～15:00

場所：東京都千代田区九段北 アルカディア市ヶ谷 私学会館 7 階 白山

出席評議員：秋光純、有本建男、京藤倫久、九後太一、郷道子、齋藤軍治、佐藤勝彦、高橋真理子、山田作衛（会長）、吉田庄一郎
（下線を付した評議員は、オンラインにて出席）

欠席評議員：江澤洋

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄
（下線を付した監事は、オンラインにて出席）

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事

出席事務局長：松林孝昭

議事：①令和 3 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。②会計監査人として、宮田芳直会計監査人を重任とする案が承認された。

(2) 理事会

1) 第 39 回

日時：令和4年5月20日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

議事：①令和3年度事業報告書案および決算書案の説明があり、原案を第12回定時評議員会に諮ることが承認された②第12回定時評議員会を令和4年6月6日14:00より東京都千代田区九段の私学会館にてオンライン併用のハイブリッド会議として開催こととした。尚、議案は、1) 令和3年度事業報告書案および決算書案の承認、2) 会計監査人の選任の2件とした。

2) 臨時理事会

日時：令和4年7月1日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

議事：①本年10月28日に開催される国立研究開発法人理化学研究所主催の「仁科芳雄記念室お披露目会およびシンポジウム」を共催することとした。

3) 第40回

日時：令和4年10月27日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

欠席監事：鈴木増雄

出席選考委員長：安藤恒也委員長

報告：議案審議に先立って、定款第28条第4項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和4年度(第68回)仁科記念賞を決定した。②昨今のアジア諸国における基礎物理学振興の高まりに鑑み、Nishina Asia Awardの本来の使命は全うされたと判断されるので、同賞は今年度の第10回をもって廃止することとした。

4) 第41回

日時：令和5年3月20日 17:30~18:30

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

出席仁科記念賞選考委員：安藤恒也委員長

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度下半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 5 年度（2023 年度）事業計画書および収支予算書案を承認した。②2023 年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を 580 万円取り崩すことを承認した。③小林理事長より「2023 年度に借入れおよび設備投資の予定はない」旨報告があり了承された。④公益社団法人日本アイソトープ協会との定期建物賃貸借契約変更に伴う利益相反取引を承認した。⑤定款第 48 条第 2 項により、松林孝昭氏を、経理を主たる業務とする事務局長（原則週 2 日勤務）として重任することを承認した。

(3) 仁科記念賞選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 4 年 9 月 21 日 17:00~21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第 2 回

日時：令和 3 年 10 月 18 日 17:00~21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題；①令和 4 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) Nishina Asia Award 選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 4 年 5 月 16 日 17:00~20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第 2 回

日時：令和 4 年 8 月 4 日 17:00~20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題：①第10回2022年Nishina Asia Award受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：令和4年4月22日（金）17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、
上菘義朋、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2021年度事業報告書および決算書（案）について ②2022年度定例仁科記念講演会について ③理研「仁科記念室」進捗状況報告

2) 第2回

日時：令和4年5月20日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、
上菘義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2022年度（第68回）定例仁科記念講演会の講演会テーマ、講演題目、開催
時間、開催場所と形式について ②第11回以降のNAAをどうするかについて

3) 第3回

日時：令和4年7月1日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
伊藤公孝、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①第 11 回以降の NAA をどうするかについて ②仁科記念賞賞牌（現在約 23 万円）のコストダウンについて

4) 第 4 回

日時：令和 4 年 9 月 5 日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①第 11 回以降の NAA (招聘) 事業をどのように廃止するか。②12 月 6 日の学士会館での授賞式の規模をどうするか。③12 月 3 日のハイブリッド仁科記念講演会の会場について ④仁科記念賞賞牌（現在約 23 万円）のコストダウンについて

5) 第 5 回

日時：令和 4 年 10 月 27 日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

議題：①来年 6 月 以降の新体制について (理事長より) ②第 11 回以降の NAA 事業をどのように廃止するか ③12 月 6 日の学士会館での授賞式・祝賀晩餐会への参加者、受賞者のオンライン出席 ④12 月 3 日の仁科記念講演会の宣伝方法について

6) 第 6 回

日時：令和 4 年 11 月 25 日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①第 11 回以降の NAA 事業をどのように廃止するか（より具体的に）②理研「仁科記念室」見学会はどうか：櫻井センター長の案内 今のところ 2 月【2/6、13、15、17、20、21、24、27】③仁科記念室に関する理研との協力協定案について

7) 第 7 回

日時：令和 4 年 12 月 23 日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上叢義朋、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①拡大常務理事会の提案について ②理研「仁科記念室」見学会はどうか：櫻井センター長の案内

8) 第 8 回

日時：令和 5 年 1 月 30 日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①拡大常務理事会の提案について ②理研「仁科記念室」見学会はどうか

9) 第 9 回

日時：令和 5 年 3 月 9 日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純

事務局：松林孝昭

議題：①伊藤憲二氏著「励起」上下巻（みすず書房出版）をみすず書房から買い取る
件 ②第 41 回理事会に諮る議案について ③運営諮問委員の新任について

以上のほか記述すべきことはありません。